

## 足元に春が咲く

背の高い木々で最もよく知られているこの地域ですが、地面近くにも短命ではありますが豊かな植生が広がっています。春の最初のぬくもりが地表を覆っていた厚い雪のじゅうたんを溶かし始める頃、短命植物と呼ばれる草花たちが生き生きとしてきます。十分な量の日光が数週間にわたって森の地面を照らし、木々に葉がつき始める頃にはこれらの春の花はすでに消え去っています。成長期間が非常に短いことから、なかには開花までに長年を要する植物もあります。例えばカタクリは発芽から開花までに 8 年を要し、小さく白いオオバナノエンレイソウ (*Trillium kamtschaticum*) は 10 年以上を要します。